

令和7年5月30日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和7年 5月 20日（火）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

【行政からの伝達事項】

- ・福祉に関する困りごと等を支援する為、総合支援課を新設

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名）

平均年齢 90歳 平均介護度 1.9（1～4）

【活動状況】

- ・ドライブ・訪問カット
- ・新聞折り・塗り絵・壁画作り・体操・下肢訓練・編み物・折り紙
- ・季節行事～・桜、つつじドライブ

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・事故 4件（転倒～2件・薬飲み忘れ～2件）
- ・ヒヤリハット 1件（ベットより転落の危険～1件）

【感染症研修・訓練】

- 動画を見ながら、ガウンテクニックの手順を学び、その後実際にガウンの着脱を行った。
- ガウンを脱ぐ際の注意点を確認した
- 以前コロナ感染症の際、ガウンテクニックの徹底により、職員の感染が最小限で済んだことから、ガウンの正しい着脱の必要性を実感したが、その後職員も忘れており、1つ1つ確認しながら行った。

(参加者より)

- ガウンテクニックとは何でしょうか



- 感染症の拡大防止の為、予防衣やマスク等を的確に着脱する事です

【身体拘束適正委員会】

- 動きが多い方や度々要望される方に対して、忙しい時や職員が少ない時、ちょっと待って下さいと言う事がある。
特に夕食前後や早朝は入居者の方の動きも同時に職員人数も少ない為、対応が追い付かない時があり、出来るだけ対応しているが、危険等のリスクのある方を優先に対応する事もある為、待ってもらう方もおられる。
- 抗精神薬服用中の方については、効きすぎている方については状態変化に応じ、医師に相談し減量等の調整を行ってもらい、動きを必要以上に制限する事がないようにしている。

(参加者の方より)

- 向精神薬は効き過ぎて減量したら、急に活発になったりと難しい事例もあった。調整次第では対応も大変だと聞いている。

【その他】

○地域行事について

- 6月15日 健康教室
講演・会食
- 7月頃 防災の講演
- 8月 盆踊り